

26の新記録が誕生～第6回とままえ水泳競技会～



結果は次のとおり(各競技の本町選手の1位まで記載。太字が新記録)

会場には指導者や保護者など約80名がスタートと同時に選手らに向け「がんばれ」「フアイト」などの声援が飛び、ゴールした後は大きな拍手が鳴り響いていた。今大会では26の新記録が誕生するなど大いに盛り上がった。

8月23日(日)B&G海洋センターで苦前水泳少年団育成会(横野美香会長)主催の第6回とままえ水泳競技会が地元少年団員ほか留萌市、増毛町遠別町などの児童や一般などあわせて73名の参加で開催された。競技はビート板、自由形、背泳ぎなど11種目39部門に分かれて行われた。

種目	学年	氏名	タイム
25メートル	自由形(小学1・2年男子)	小2 宮前 英煌	38"67
	背泳ぎ(小学3・4年女子)	小4 猪股 真央	21"89
	平泳ぎ(小学3・4年男子)	小4 後藤 大和	33"32
	平泳ぎ(小学5・6年女子)	小6 横野 瑞希	29"44
	平泳ぎ(中学生女子)	中1 工藤千翔星	28"44
	バタフライ(小学5・6年女子)	小6 前川咲弥花	22"54
50メートル	背泳ぎ(小学3・4年男子)	小4 後藤 大和	1'04"03
	背泳ぎ(小学3・4年女子)	小4 猪股 真央	50"23
	背泳ぎ(小学5・6年女子)	小6 前川咲弥花	49"23
	背泳ぎ(中学生男子)	中2 田井脩太郎	45"44

種目	学年	氏名	タイム
50メートル	平泳ぎ(小学5・6年男子)	小6 橋場 星宙	44"36
	平泳ぎ(中学生男子)	中3 浅野 一真	43"71
	バタフライ(小学5・6年男子)	小6 橋場 星宙	43"07
	バタフライ(中学生男子)	中3 浅野 一真	35"61
	自由形(小学3・4年女子)	小4 猪股 真央	44"99
	自由形(小学5・6年男子)	小6 橋場 星宙	35"66
100メートル リレー(中学生)	古中男子 吹奏楽部	柴田 太一、橋場 吏玖 林 優汰、田井脩太郎	1'14"35

名残惜しそうな表情でヒラメの赤ちゃんを放流～ヒラメ放流式に町内園児が参加～

園児らは約8センチに育った300匹のヒラメを小さいバケツで放流、少し名残惜しそうな表情ながら「元気に戻ってきてね」と言いながら、海の中を泳ぐヒラメの稚魚の姿を見ていた。

北るもい漁協の太田信之筆頭理事は「ヒラメを放流して19年になります、たくさん苦前の海に戻ってきています。お魚は栄養があるのでたくさん食べて下さい」と挨拶した。

別保育所(川森のり子所長)の年長組26名が参加し行われた。



海の安全を守り100年～苦前救難所創立満100周年記念式典を挙げる～

◎勤続表彰

- ・40年以上
田中 敏郎・坂本 武・杉本 司
- ・30年以上
川村 信介・初山 忠雄・佐々木雅洋
- ・25年以上
石岡 晴夫・瀬川 節夫・能登 輝夫
嶋崎 三春・白畑 誠・坂本 孝
- ・20年以上
小笠原則彦・佐々木直洋・岩澤 正幸
成田 太・堀井 浩司・嶋崎 裕介
佐藤 信一・能登 末美
- ・15年以上
木村 幸雄・瀬川 唯幸・久野 裕樹
檜谷 哲也・赤坂 和義・佐々木健司
- ・10年以上
山本一二美・加藤 孝幸・西田 浩
北村 拓也

◎留萌海上保安部長彰

- 平成27年「海の日」海事功労者彰(勤続20年)
小笠原則彦・成田 太・堀井 浩司
嶋崎 裕介・佐藤 信一

◎感謝状贈呈

- 西田 清一・小野 善市・今 隆

川村所長は開式にあたり「これまで幾多の試練を乗り越えた先人の尊い英知と努力に尊敬と感謝の念を捧げるとともに、これまでの教訓を肝に銘じ所員一同が力を合わせ邁進していきたい」と決意を述べた。



8月28日(金)とままえ温泉ふつとで苦前救難所(川村信介所長)の創立満100周年記念式典が挙行された。苦前救難所は大正4年7月に北海道で4番目の救難所として大正4年7月15日に海淵甚介氏を初代所長として開設され、現在の川村所長で12代目となる。所員は37名が活動しており、これまでの100年間で223回の救助出動を行っている。

今隆北るもい漁協代表理事組合長、森町長らは「道内4番目の救難所として100年に亘る活動に敬意と感謝を表したい。今後も訓練等を重ね頼りになる救難所となるよう祈念している」と祝辞を述べた。式典では所員の勤続功労、元所長らへの感謝状の贈呈も行われた。

晴天の中、飲み食べ楽しむ! ~チャリティフェスティバルinとままえ~



今年で6回目となる大新東株式会社主催のチャリティフェスティバルinとままえが9月6日(日)に開催された。

町内の支援を必要とする方への協力として会場内に募金箱を設置、集まった金額を町社会福祉協議会へ寄贈する目的で開催されているイベントでは、歌手や苦前中学校吹奏楽部、陸上自衛隊留萌駐屯地音楽隊の合同演奏、よさこいや子供によるダンスなどの催しのほか、北るもい漁協やJA苦前町による農水産物や加工品の販売、とままえ温泉ふわたとのエビバーガーなどが販売され、集まった来場者が飲食やお土産を購入するなど賑わっていた。

長寿をお祝い ~平成27年度苦前町敬老会~



苦前町社会福祉協議会主催の平成27年度苦前町敬老会が9月16日(水)公民館で開催され、町内に居住する75歳以上の高齢者約220名が料理と催し物を楽しんだ。

森町長や阿部俊一町議会議長は「現在の苦前町があるのも皆様方のご尽力のおかげと思っている。これからも健康に注意いただき過ごしてほしい」と挨拶した。

また、今年満100歳を迎えた方への記念品贈呈式も行われ、この日参加した石川一好さんに記念品が手渡された。

参加者は乾杯の後、料理と飲物を味わいながら懇談、苦前保育園、古丹別保育所の園児によるお遊戯や苦前婦人会などによる舞踊、カラオケを楽しむなど1日を満喫したようだった。

手で刈り取る稲刈りも約30分で終了! ~学社融合事業「稲刈り」~



地域の産業を知るため行われている学社融合事業の「稲刈り」の学習が9月24日(木)に苦前小学校(堀井理校長)と古丹別小学校(笹森文夫校長)の5年生の児童あわせて25名が黄金色になった稲穂の刈りを体験した。

児童らはカマを使った作業のため最初は慣れない手つきだったが、徐々にその作業にも慣れ、約30分ほどで作業を終了、刈った稲穂の穂先をそろえ、全員でコンバインへ運ぶ作業まできっちり行った。

その後、講師の花井秀昭さんが運転するコンバインに同乗させてもらい、現在の刈り取り作業も体験した。

今回児童らが収穫したななつぼしは、精米後に花井さんから両校に贈呈され、それぞれの学校で使われることとなっている。

牛乳消費拡大の一環でミルクストローなどを寄贈 ~もーもーみるく倶楽部~



町内の酪農家の女性で活動している「もーもーみるく倶楽部」が牛乳消費拡大の一環として毎年実施している「啓発物品」の寄贈を行った。

役場教育長室で行われた贈呈式では会員5名が来庁し、池田文敏教育長に牛乳を飲む際にストローを使うとチョコ味やバナナ味になるミルクストローやノートなどの町内の保育園児、中学校児童生徒全員分の物品を寄贈した。

同倶楽部の会員が贈呈に際し「牛乳の消費拡大につながるよう有効活用してほしい」と述べると、池田教育長も「牛乳は子ども達の成長に良い影響を与えるため、保育所、学校を通じて配布させていただきたい」と述べた。

個人住民税の特別徴収関係の書類がインターネットからダウンロードできます

北海道では個人住民税の特別徴収(給与からの天引き)の推進を図るため、事業主の皆様が特別徴収の手続きをご利用しやすくなるよう、北海道のホームページ上に個人住民税の特別徴収に関する道内各市町村提出用の様式を掲載し、ダウンロードすることでお使いいただけるページを作成しましたので、ぜひご利用ください。

- 道庁ダウンロードサイト http://www.pref.hokkaido.lg.jp/sm/zim/tax/tokubetuchoushuu_downloadsitesite.htm
- 留萌振興局ダウンロードサイト <http://www.rumoi.pref.hokkaido.lg.jp/ts/zim/kojinyosiki.htm>
- ダウンロードできる様式

- 給与支払報告・特別徴収に係る給与所得者異動届出書
- 納期の特例に関する承認申請書
- 特別徴収への切替申請書
- 特別徴収義務者の所在地・名称等変更届出書

北海道留萌振興局地域政策部税務課(☎0164-42-8419)



健康ばんざい

「身体のメンテナンスは大丈夫？」
乳がん・子宮がん

今月の担当は 宮前保健師長です

検診を受けていたのに!!

9月のニュースで元プロレスラーでタレントの北斗晶さんが、進行した状態の乳がんがわかり、手術を受けたことが話題になりました。ご記憶にある方も多いと思いますが、彼女は毎年子宮がん、乳がんの検診を受けていた方です。

ただ、乳首の位置の変化や痛みの違和感に気づいてはいましたが、毎年検診を受けているから大丈夫という思いと自分で触ってみてもわからなかったこと、身内に乳がんの人がいないということから、がんの可能性を否定する気持ちが働き、受診を遅らせてしまう結果になりました。

乳がんは、40歳から50歳代女性の
がん死亡第1位

乳がんは、女性の12人に1人が発症し、年間1万人近くの方が亡くなっています。早期に見つけると98パーセント治ります。

検査で見つけるのが可能な大きさのがんから進行するがんになるのには、一般的に2年弱かかります。逆にいうと早期に見つけるためには、2年以上間をあげずに検査を受ける必要があるのですが、彼女の場合は1年で進行したということになります。

今回の例から彼女のように、検診

と自己触診の両方をすでに定期的に行っているという方は、気のせいかもしれないと思いを受診しようという思いに変えるのは難しいかもしれませんが、気になることがあればまず受診をすることが大切といえます。

乳がんに限らず病気はご自身のことだけでなく、家族等周りの人にも影響を及ぼします。

定期検診を待たずに乳房の場合、早めに乳腺外科、外科を受診しましょう。

また、日頃から自分の身体に関心を持つていないと、変化に気づけず早めの対応ができません。何もメンテナンスをしていないという方は、検診を受けて自己触診を始めましょう。

欧米諸国では乳がん検診受診率は50パーセントを超えています。苦前町では受診している方が少なく、1割程度の受診率です。

また、日頃から自分の身体に関心を持つていないと、変化に気づけず早めの対応ができません。何もメンテナンスをしていないという方は、検診を受けて自己触診を始めましょう。

乳がん検診はどんなことをするの？

検診では乳房をレントゲンで撮影(マンモグラフィ)します。撮影台とブラスチックの板で乳房を挟んで撮りますので、挟むときの痛みを感じる方もいますが、5秒くらいそのままの姿勢で撮影します。その他に医師の診察があります。

苦前町では、公民館で検診(集団検診)を年1回12月に実施します。下記の日程で行いますが、詳しくは後日、回覧等でお知らせします。



子宮頸がんの検査方法は？

子宮頸がん検診は診察台に上がっていただき、医師が子宮頸部の状態を診察します。

そのままでの姿勢で医師がヘラやブラシで子宮の頸部をこすり取ります。検査自体は数分で終了します。たまに出血するため、検査後は生理用のナプキンをつけると安心です。

子宮がんは、20歳から30歳代に多い

子宮頸がんは、この20年で亡くなる方が増加しているがんです。

子宮頸がんは増殖スピードが遅いのですが、日本は検診を受ける人が非常に少ないことで、早期発見することができないという現状があります。

検診ではがんになる前の状態で発見することもできます。

若い女性は検査自体に抵抗感がある方も多いのですが、お母さんに勧められて受ける方もいます。

身近な方から検診を勧めて子宮を守ってあげましょう。

*乳がん・子宮がん検診は同日に実施します。乳がん検診の待ち時間で、子宮がんの検診を終えることができますので、ぜひこの機会をご利用ください。

Dr. 小野の処方せん

ワクチンと予防接種

ワクチンとは病原性を弱めた微生物(弱毒性ワクチン)や病原性を無くした微生物(不活化ワクチン)を前もってヒトに投与しておき、事前に免疫を与えておくための手法です。ワクチンの投与で感染症を予防できることから、ワクチンを投与する行為を「予防接種」と言います。

最初のワクチンは1798年の種痘で、その後生ワクチンとしてフランスの化学者、細菌学者であるルイ・パスツール氏が狂犬病ワクチンの開発を基に、科学者等による研究によりBCGワクチンが開発されました。

同様にチフス、コレラ、ペストなど細菌感染症において初期の不活性化ワクチンが19世紀後半に開発されました。

我が国でワクチンが導入される以前には百日咳、ジフテリア、破傷風、麻しん、ポリオ、日本脳炎で年間数百人から数万人の患者が死亡していましたが、現在では激減しています。

予防接種には定期接種と任意接種の2種類がありますが、定期接種のワクチンは予防接種法による努力義務があり、副反応時には健康被害救済制度があります。

任意接種ワクチンは接種するかどうかの選択は個人が判断します。



医療法人社団オロロン会
苦前クリニック
理事長 小野 哲郎
Tel64-9070

乳がん・子宮がん検診の
お知らせ

日程
平成27年12月2日(水)
会場
苦前町公民館
※送迎バスを運行しますが、利用には事前申し込みが必要となります。詳細は回覧を参照ください。

クーポン券(黄色)を7月に受け取っている方は、個別に病院で受けることもできます。クーポン券送付時に同封している検診の受診方法をご確認いただき、ぜひ、検診をご利用ください。